

I 先行する神の恵み。エペソ4章では御霊の一致を保つように言われている。

1. 「彼（主イエス）がまず地の低い所に下られた」：9。

この事実を最も良く説き明かしているのは次の箇所 =

「もしキリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがああるなら（ここでも、三位一体の神の恵みが先行している！）、私の喜び（パウロの喜びは神の喜び。神の喜びは私達が一致する事）が満たされるように、あなたがたは一致を保ち（ここでも作りではなく、保ち）、同じ愛（アガペー、神からの愛）の心を持ち、心を合わせ（まず神の心と合わせる）、志を一つにして下さい（まず神の志を祈り求める）。

何事でも自己中心（一致を壊すのは自己中心。神を中心にするると真お一致が生まれる）や虚栄（空しい誇り、神の栄光を盗む、神に栄光を帰さない心）からすることなく、

へりくだって（謙遜は一致に欠かせない）、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい（お互いに、それぞれの人に神が優れた点を与えておられる事を認め合う）。

自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。…キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、

人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架（極悪人の処刑法）の死（私達の罪の刑罰を身代わりに受けて死なれた）にまでも従われました」ピリピ2：1-8。

主イエスの想像絶するへりくだり、地の最も低い所に下って下さった恵みを心から感謝します！

2. 「この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、

もろもろの天よりも高く上られた」：10。

「もろもろの天よりも高く」=もろもろの天という表現は、最も高いの強調の意。最も高い天とは、最も偉大な栄光の神の臨在の場。私達の罪の為に最も低い十字架にまで下られ死なれた主ご自身は、死んだままではなく、天よりも高く上られた。

①悪魔と死に勝利し、復活された。

「子たち（私達）はみな血と肉を持っているので、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死（罪の刑罰を受ける十字架の死）によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々（私達）を解放して下さるためでした」ヘブル2：14、15。感謝します。

②「死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。

…神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。…ですから、…いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだではないことを知っているのですから」I コリント15：55-58。

③「神は、私たちを暗やみ（悪魔と罪の支配）の圧政から救い出し、愛する御子のご支配の中に移してくださいました」コロサイ1：13。

罪の力から解放されているゆえに、主に抛り頼み、罪の力、悪習と戦うことが出来る。感謝します。

④「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています」マタイ28：18。

主は、すべての支配者、歴史の主。「神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権、の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました（本日の「もろもろの天よりも高く上られた」の御言葉にピッタリ）。

また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです」エペソ1：19-23。

教会の礼拝や教会での交わり、御言葉の分かち合い、祈り合いで心が満たされる理由が、この御言葉で分かる！教会は、目に見えない主の御臨在で満ちている！

⑤「天よりも高く上られた」の究極の意味＝「キリストは、罪（私達の）のために一つの永遠のいけにえ（私達の罪の償いとして十字架で奉げられたキリストご自身の御体と罪なき聖なる血）をささげて後、神の右の座（天よりも最も高い場所、キリスト以外誰も着座できない場所）に着き」ヘブル10：12。

そこで何をしておられる→「ご自分によって神に近づく人々（私達）を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです」ヘブル7：25。感謝します。

3. 「すべてのものを満たす」方。主ご自身は、私達に、罪の赦し、永遠の命、御聖霊、賜物、愛、喜び、平安を満たして下さる。人生に疲れ、重荷を負っている時、私達に野優しく語り掛けて下さる。

「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、私のもとに来なさい。私が休ませてあげます」マタイ11：28。

Ⅱ 神の大いなる恵みへの応答

1. 感謝、賛美、毎主日、礼拝をお奉げする。
2. キリストが量り与えられた賜物を感謝し、それらを祈りつつ神の栄光の為に用い、奉仕をさせていただく。
3. ディボーション。御言葉と祈りによる神との静かな交わり。
4. 互いに、主の恵み、主の御言葉の恵みを分かち合い、祈り合う。そこに素晴らしい主は臨在される。「わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです」マタイ18：20